

山行報告

6月20日 愛宕山・竜ヶ岳（1班）

藤村 敏幸

山名	愛宕山・竜ヶ岳	山行名	夏山トレーニング 1班	
ルート	JR 保津峡駅・愛宕山・サカサマ峠・竜ヶ岳・愛宕山・つつじ尾根・JR 保津峡駅			
山行日	2021.6.20(日)	天候	晴	
参加者	CL 藤村 SL 西川 玉置、北條、黒崎、藤本、森本、木元			
ルート概略図 JR 保津峡駅→愛宕神社 →サカサマ峠→竜ヶ岳→愛宕神社 →JR 保津峡駅	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	JR 保津峡駅	発 8:00	JR 保津峡駅 着	16:30


山行部の部会で夏山合宿の訓練を愛宕山で計画していると話す、多くの人からエーと落胆の声が聞こえた。何回も登っている愛宕山ですかとの質問もある。保津峡駅まで京都駅から約30分で到着し、到着後直ぐに登れて無駄な移動時間がなく訓練には最適な山であることを説明する。奥を回れば8時間コースも10時間コースもあり、又道も整備され安心であることも話す。過去幾度か夏山練習登山として六甲山系や比良山系の登山に参加するが、天候不順・道迷い等で8時間歩行をやりとげた記憶はなかったことや、昨年8月に実施した比良山系も約5Hで終了したことなどを話し納得してもらおう。

予定日が緊急事態宣言最終日につき実施しても大丈夫ですかとの質問があるが、電車にて現地まで移動するので、感染のリスクは少なく問題はないと押し進める。

当初はつつじ尾根から登ればよい訓練と思うが、初心者も参加しており無理はせずゆずの里まで平坦な道を歩き、足を慣らす方が良くと思う。本番ではコースタイムの1.2倍で歩行時間を計算しているが、岩コース組はコースタイム以上で登れるか試そうと思い、ゆずの里まで速足で歩く。ゆずの里のバス停前でトイレ休憩しているとき、皆さんから早すぎると文句があり、それ以降は少しゆっくりと20分歩行で5分休憩のペースで登る。後続の方が見えなくなり心配で電話すると道迷いをしたと連絡があり、追いつけるようさらに休憩を増やしながら登る。水尾の別れにコースタイムより約20分早く9時55分に到着した。やれば出来ると思いきや少しバテぎみな方もおられこれ以上先を急ぐと、生駒山の二の舞になると思い行動食を食べていただき十分休憩する。水尾の別れまでで苦役の歩行訓練も終わり、後はゆっくりと愛宕神社まで登る。神社前に着くころには後続の難コース組、道迷いをされた方も追いつかれ、賑やかな雰囲気になる。昼食は林道脇の窮屈な場所でとる。もう少し進めば龍の小屋がありゆったりと食事ができたのに小屋に気がつかなかったのが残念でした。下見にきた時は竜ヶ岳の登りは、痩せ尾根で手応えのある岩山と思ったが、今回は慣れもありあまり手応えを感じなかった。竜ヶ岳頂上で難コース組と合流するが、皆さん元気で口も滑らかで、きっと何人かはバテルだろうと思っていたが思い過ごしでした。保津峡駅には予定通り16時40分コースタイム通り8時間歩行通し到着する。岩コース組の方最初から早く歩きすぎ疲れさせ、又道迷いまでさせてしまい申し訳ありませんでした。 ヒヤリハット なし

6月20日 愛宕山・竜ヶ岳（2班）

平尾 繁和

山名	愛宕山・竜ヶ岳	山行名	夏山トレーニング 2班			
ルート	保津峡駅～水尾の里～愛宕神社下～サカサマ峠～竜の小屋～竜ヶ岳～三角点～愛宕神社下～ツツジ尾根～保津峡駅					
山行日	2021年6月20日（日）	天候	晴れ時々曇り			
参加者	CL：平尾 SL：伊藤多 男性：永井、廣瀬、佐々木（愛宕山で3班へ） 女性：今村、蒲田、高橋、玉井、徳田、上田（愛宕山で3班から） 合計10名					
ルート概略図 省略	コースタイム					
	地名		時：分	地名		
	保津峡駅			竜の小屋	着	11：55
		発	8：00		発	12：25
	水尾の里	着	8：43	竜ヶ岳	着	13：13
		発	8：55		発	13：18
	水尾分れ	着	10：05	三角点	着	14：10
		発	10：15		発	14：15
愛宕神社下	着	10：40	愛宕神社下	着	14：25	
	発	10：55		発	14：40	
サカサマ峠	着	11：40	保津峡駅	着	16：35	
	発	11：40				
<p>夏山集中登山の八ヶ岳難縦走コースのメンバー6名+4名の班編成で、保津峡駅から水尾の里をめざし舗装路をいく。水尾の里からの登りはほとんどの人が初体験。ゆるくて長い一本調子の上り坂が何回か続き、表参道に劣らず登りがいがある。水尾別れまで約1時間。愛宕神社下で一部メンバーの入れ替えがあり、トレーニングの後半へとすすむ。サカサマ峠へは、広葉樹の林を軽快に下っていく。「特許許可局」と聞きなした鳥はやはりホトトギス。他の鳥の巣への托卵で知られ、唱歌「夏は来ぬ」を思い出した。竜の小屋前で昼食、クリソウの管理柵の向かいには植栽のジキタリスが花をつけていた。渡渉後にストックをしまい竜ヶ岳の登頂をめざす。休憩中の2人連れの女性に聞くと、谷を抜けてきたそうで道は倒木で荒れていて大変だったとのこと。そういえば3、4年前労山の遭難者捜索で来た道が荒れていたことを思い出した。竜ヶ岳の急登は途中這うように手足を使うなどトレーニングのしがいがあった。竜ヶ岳で先に休んでいた1班と合流し集合写真をとってもらう。地蔵山への分岐まではゆるやかなアップダウンを繰り返す。足元にこぼれた白いエゴノキの花や枝を見上げて小さなシャンデリゼを見たり、ウツギの白い花をみたりみなさんルンルンの歩行。全員行ったことがないと聞き、時間に余裕があったので愛宕山三角点（890.5m）へ立ち寄る。前方の展望を味わい引返す。愛宕神社からの帰路はツツジ尾根を下る。イノシシの池にはモリアオガエルの卵塊が一つついていた。最後の急坂を慎重に下り、全員しっかりした足取りで無事トレーニング登山を終了できた。</p>						
 <p>愛宕山 三角点から</p>						
YAMAP 8時間40分 16.9km、累積標高差 登り1,374m下り1,377m						
ヒヤリハット なし						

6月20日 愛宕山・竜ヶ岳 (3班)

山下 隆

山名	愛宕山・竜ヶ岳	山行名	夏山トレーニング 3班			
ルート	JR 保津峡駅—柚子の里—愛宕山—柚子の里—JR 保津峡駅					
山行日	2021.6.20(日)	天候	晴			
参加者	リーダー： 山下 隆 男性： 山下 合計： 5 名	サブリーダー： 和田千恵 女性： 和田、上田、牧之瀬、吉田				
ルート概略図 愛宕神社 ↑ ↓ 水尾の分かれ ↗ ↘ 水尾バス停 ↑ ↓ JR 保津峡駅	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	JR 保津峡駅	集		水尾バス停 (トイレ)	着	13:46
		発	8:00		発	14:00
	水尾バス停(トイレ)	着	8:50	(水尾散策路)		
		発	9:00		発	
	表参道水尾の分かれ	着	10:17	JR 保津峡駅	着	15:05
		発	10:30		発	
愛宕神社 (昼食)	着	11:20	本日の歩数; 2.5 万歩			
	発	12:03				

八ヶ岳平易コース参加予定者7名の内、5名参加となる。我がグループの本日の使命は、愛宕山までの登山で OK とのこと。無理して難コース組と同じルートを歩くことはないので少しばかり心に余裕がある。順調だったら竜ヶ岳までの往復を加えられたらとも思うも実現しなかった。

3組別々に出発し、当然3班は最後の出発。何度も愛宕山に登っているが、水尾経由の愛宕山登山は初めてのことで、水尾川に沿った散策路は川のせせらぎを聞きながらで、木々は鬱蒼とし、その木陰の中を歩けてのお気に入りの散策路だった。

メンバーの中には訓練登山ゆえ力一杯の荷物を背中に負う方、普段の体力作りが完璧でスイスイの方、久振りの山行きで膝に不安のある方、軽すぎる荷物の方、今日は「晴」が保証されているので雨合羽は抜いて荷を少しでも軽くしてきた方とそれぞれの特徴の面々。

当方はツリ無しで完歩できたが、登りの水尾の分かれ付近で腰回りに違和感を感じた。初めての症状で原因に心当たりもなく苦戦した。食後、皆で帰路を相談した結果、急坂のあるつつじ尾根は止めて、登ってきた水尾の里へ戻ることにした。昼食の時に出会った山友会の I・H さんも同行して水尾の里に下りる。野イチゴ・梅の実・山菜・山野草・溪流・おしゃべりとのんびりと JR 保津峡までもどる。初めての山小屋泊りで不安の方もいるので、その不安解消法の話をしたり……。帰路の水尾散策路は訓練登山の日であったことを忘れてしまうほどののんびりハイキングだった。

一方、難コース組は予定通りの 16:40 頃に JR 保津峡駅に戻ってきた。面々はそれなりのエネルギーを費やして達成感にあふれていた。中にはまだまだいけそうな方もいた。

8月の当日にはメンバー7人ともワクチン2回接種後なので、やや安心。本番では一日当たり2:7:6 時間の山歩きの予定で、まだ本番までは日数もあるので 体力作りに励み、無事故で楽しい夏山にしたいものです。

ヒヤリハット ; ありません。

